

会議録

会議の名称	令和3年度第4回新城市市長選挙立候補予定者公開政策 討論会実行委員会
開催日時	令和3年7月14日（水）午後6時30分から
開催場所	新城市役所本庁舎3階災害対策本部室3（オンライン会 議）
会議の次第	1 あいさつ 2 報告 3 検討 （1）託児について （2）市民の声の集め方の具体化 （3）感染状況の悪化、台風等の場合の対応 4 その他
欠席委員	田村委員 片桐委員

1 あいさつ

委員長及び事務局から簡単なあいさつがされた。

2 検討

(1) 託児について

委員長	託児のファミリーサポートの確認の状況について、事務局から説明をお願いします。
事務局	討論会当日のファミリーサポートの利用については、可能ということで確認をいたしました。新型コロナウイルスへの対策については、しっかりと行ってもらいようお願いをしてという形です。キャンセルについては、1週間前までにとのことですので、託児の依頼期限を設けて、依頼がなければキャンセルという運用になります。
委員長	キャンセルについては、4年前も1週間前までの申込みでしたので、同様に良いでしょうか。
事務局	はい。
委員長	前回に、若い方に会場で見に来てくださいという実行委員会からのメッセージになるという御意見がありましたので、ファミリーサポートの方でコロナ対策がしっかりとできるのであれば、設営して良いかと思いますが、格別の異論がなければ。
委員	経費は掛かりますか。
事務局	経費は掛かります。お預かりする子どもの年齢によって、お願いする人数が変わったりします。
委員	年齢制限はありますか。
事務局	生後3か月から可能です。
委員長	ほかにありますか。では、託児については設営で進めたいと思います。

(2) 市民の声の集め方の具体化

委員長	市民の声の集め方について御意見をいただければと思います。
-----	------------------------------

委員	<p>色々資料を見て考えましたが、目安箱の設置期間はどのようにするのでしょうか。8月25日に実行委員会を予定しているかと思いますが、それ以後の集計では、もう1回ということになるのではないのでしょうか。また、ワークショップを行う場合には、開催スケジュールは取れるのでしょうか。</p> <p>SNSについては、適当なのでしょうか。意見をした人の居住地等もわからないので集計として成り立つのか、そういった観点から考えていただくのが良いかと思います。私は、無責任に出されないように、メールやFAXの方が良いかと思います。</p>
委員長	<p>今いただいた意見について、どうでしょうか。</p>
委員	<p>私は、現在フェイスブックを中心にインスタグラムを少しという使い方をしていますが、今の意見のように何でも良いからということでダイレクトメッセージをもらう形にするとどこの誰かが分からないということは、仰るとおりかと思います。</p> <p>会社でも使いますが、WEBアンケートで、氏名、住所、アンケートを入力して送信すると集計されていくようにすれば、スマホでもできますし、最低限の氏名等が分かるように、年齢等を入れるのかということもありますが、そういった方法であればSNSの活用は良いかと思いました。</p>
委員長	<p>ほかにはいかがでしょうか。</p>
委員	<p>私は、堅苦しくなるというのが1つの壁になると思いますので、責任ある発言というのはごもつともだと思いますが、それで意見が活発にならないというのもどうかと思います。市民を巻き込んでというのが1つの観点ですので、責任となると意見を躊躇してしまうことを危惧しています。その加減は難しいですが。</p> <p>意見を言ってそれに対してリアルタイムで意見が来ればなるほど思ったりもしますし、そういう会議のような手応えを感じられることも市民を巻き込むという意味では必要ではないかと思います。</p>

	<p>FAXやメールは、意見をまとめてから書けるということで、優れていると思いますが、巻き込んで興味を持ってほしいという意味では、それを阻害してしまうように思います。責任の所在については考えた方が良くと思います。</p>
委員	<p>私も賛成です。公開政策討論会は、それだけで市民のハードルは高いと思います。市の何かに参加するという時点でハードルが高くて、そこで躊躇してしまう方が沢山いるということが事実ですので、より声なき声みたいなものをすくい上げるためには、気軽なところが必要かと思います。</p>
委員	<p>責任ある意見も重要ですが、色々な意見を求めるのであれば、どこの人でも問題ないですよという意見募集の入り口を設けても良いかと思います。何がそれに当たるかは、思い浮かんでいませんが。</p>
委員	<p>色々な意見を拾いたいということは分かります。問題は、事務局のデータ整理がどのようにできるのかということです。アンケートの内容をどのようにするのかによって分かれると思います。自由に意見をという形なのか、選択なのかそこについてはいかがでしょうか。</p>
委員長	<p>事務局はいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>つまり質問の仕方ということですね。これから決定することになるかと思いますが。</p>
委員	<p>選択なのか自由記述なのかで集計も違うと思いますが、個人的には、自由記述の場合には、全て読みたいので、集約されてしまうのは困ります。アンケートの内容を先に決める必要があるかと思いません。</p>
委員	<p>子育て・防災等の関心がある分野に、明確ではないけれど焦点が来るかと思います。どのような市政になったら良いですかというものかなと思います。市民まちづくり集会とかでもテーマにするのはそういうところなので。難しく考えるのではなくて、個人が考えることは、日々直面している課題が個人で違うので、具体的にする必</p>

	要はないかと思えます。
委員	私も賛成です。一言で表してもらったものを集計することで良いのかなと思えます。氏名や市内在住などの必要な情報をもらえれば責任の所在になると思えますし、防災や観光等一言で十分で、集計もしやすいです。SNSに氏名と年齢と一緒に記載してもらえばテーマが集まると思えます。
委員	事務局が市民の方に発信するのはいつですか。
事務局	媒体によります。ほのかであれば8月16日の発行ですし、ホームページは内容が決まり次第できますし、同じように無作為抽出のアンケートも内容が決まり次第可能です。それぞれできるだけ早い方が良いかと思えますので、準備ができた順に進めていくことになるかと思えます。
委員	そうするとほのかは無理ですかね。
事務局	8月16日の発行ですので、締切りをいつまでにするのかということになります。地区で配布に掛かる時間は異なりますので、すぐに届くところや期限前後に配布されるところが出てきますが、選択肢としては入れておいて良いかと思えます。
委員	心配なのは、SNSが広がる速度です。フォロワーはすぐに増えるものではないので。広報する媒体は多い方が良いと思えます。SNSで発信しても見てくれる人は、1%に満たないと思えます。どうやって市民がフォローしてくれるかが重要で、SNSで発信すれば情報が集まるというものではないです。
委員長	SNSを使うかについて、先程ありましたように、また、社会的にも問題になっているように、無責任な声の発信がSNSの問題の1つです。資料にありますように、投稿者の属性をどこまで求めるのかというのが、氏名だけなのか、行政区までか、住所かというようなところが、良心を求める上でのハードルになってくるかと思えます。過去にJCで開催したときも、郵送、FAX、メールで募集をしましたが、そのときは住所と氏名を記載してくださいという

	<p>ことで募集をしています。その信ぴょう性・裏付けを取ったりはしませんので、良心に頼ることになりますが、その点については、SNSでも同じかなと思います。</p> <p>前回は話がありましたが、ほのかは地区によって配布の時間が大きく変わります。市から情報発信はしていますが、市民は知らないことが多く、情報発信の媒体はいくつも持ってないといけないと思いますので、日程的なことはありますが、使いたいと思います。無作為抽出もアナログとして入れたいです。また、プレスリリースをかけて新聞記事を活用したいと思います。ほのかは若い世代はあまり見ないと思うので、そこに届くにはSNSなのかなと、SNSは、今からアカウントを作っても広がらないので、新城JCに相談してそのアカウントからの発信をしたいなと思っています。インスタグラムとフェイスブックをシェアすることで拡散させて、できるだけ多くの人に情報が届くというのが、現在の事務局との想定状況です。</p> <p>どの媒体を利用したとしても、責任ある声を送ってくれるのかは、期待値でしかないので、来た答えを見て判断するしかないのかなと思います。</p> <p>あとは、質問の仕方ですが、4年前には、人となり分かる質問を自己紹介に入れて答えてもらいましたし、テーマの説明等をするときにこういう声がありましたよと紹介をする使い方をしました。</p> <p>分野を問うときには、今回は主たる争点が見えてこないもので、まだ1人しか表明をしていませんが、各立候補予定者のマニフェストから争点を拾うことになりますが、その際に、市民のどのくらいが関心を持っていますよと、裏付けとして、実行委員会のテーマ選定の根拠となる、そういう活用になるかなと思います。</p>
委員	<p>今のは興味深く思いました。</p> <p>立候補予定者のマニフェストが出てからそれを参考にテーマを決めていくと思っていましたが、先に市民の声を拾っておいて、そ</p>

	<p>れを先に発信することで立候補予定者は、それを取り上げざるを得ないと思います。実行委員会から事前に提示して、立候補予定者にそれについて考えなければいけないというふうに持っていくのは良いなと思いました。</p>
委員長	<p>テーマの選定については、条例上立候補予定者が提案できて、推薦委員が入ってから具体的に行いますが、そのときに立候補予定者の提案とマニフェストの比較と、市民の声でテーマ選定ができていきますので、分野を問いかけるというのはありかなと思います。立候補予定者が似た意見を持っているとテーマにしても仕方がないので、討論になるようなものを選ぼうと思うと、色々な裏付け・選択肢をもつためには、分野を問うのはありかなと思います。</p> <p>SNSの活用として、SNS上での意見か、市のホームページ・アンケートページへのリンクの拡散か、が考えられますが、前者は意見が丸見えになってしまいますので、リスク的に考えるならリンクの拡散が安全かなと思います。</p> <p>色々なことを考えて実施する必要がありますが、市民の声を集めることで厚みのあるテーマ選定にしたいというのが事務局と相談している状況です。</p>
事務局	<p>先程話のあったのは、議題の提案を候補者がしてくる前に、説明会のときに市民の声を提示したいという意図だと思いますが、時間的に厳しいなと思います。市民の声は、立候補予定者からの提案があって、推薦委員が入った後で、そのデータが集まっている状況で良いですか。</p>
委員長	<p>それで良いと思います。集まった市民の声を公にするのは、討論会の当日に使うときかなという想定です。</p>
委員	<p>要点は、市民の声を自由として集めるのかポイントを絞って集めるのかというのが1つ、情報発信の方法を決めていくのが1つかなと思います。まずは前者を決めて、それから後者を決めないに進んでいかないとしますので、そのように進行をしていただきたいと</p>

	<p>思います。</p>
委員長	<p>はい。では、質問の方法について、立候補予定者に質問した内容を聞くのか、分野設定をするのか、両方を行うのかなど、御意見ありますか。</p>
委員	<p>選択肢があった方が選びやすいかと思います。質問はありますかとしても、言葉が出てこないという方も多いと思いますので、人口、防災、観光のような分野の選択肢を設けて集計すれば市民の興味のある分野・傾向が分かって良いかと思います。</p>
委員	<p>私も賛成です。自由になるとぱっと思いつかない方が多いと思いますので、選択肢を提示して、最も興味のある分野を選択してもらうのが好ましいかと思います。記載が任意の自由記載欄を最後に設ければ、良いアイデアが出るかもしれませんので、あると良いと思います。</p>
委員	<p>これまでの市民まちづくり集会で集まったものを参考にするのも良いかと思います。それを選択肢の項目にするのも良いのではないのでしょうか。これまでの積み上げがここで生きるかと思います。</p>
委員長	<p>記録は残っていますか。</p>
事務局	<p>あると思います。探す必要はありますが。</p>
委員	<p>SNSは、JCでの発信としていましたが、若者議会や市の公式などのSNSがあると思いますので、そういったものの活用もあるかと思います。少し話が戻ってしまいましたが。</p>
委員	<p>良い意見だと思います。過去行ってきたことが活かされて、女性議会や中学生議会なども活かすことができればと思います。</p>
委員長	<p>話を戻しまして、これまでの意見から、分野の選択をしてもらうのは入れたいと思います。文章による立候補予定者への質問はどうでしょうか。先程ありましたように、分かりやすい文章を書いてもらうというのは意外と難しく、JCの過去の討論会で、会場から声を集めなかった理由の1つがこれでした。きりがなし、意図を受け取りにくいこともありますので外すべきか、いかがでしょうか。</p>

	か。
委員	自由な意見としては、その他にありますかというような形でどうでしょうか。また、分野については、今日まとめきるのは、難しいかと思います。
委員長	では、政策分野の選択と自由記述欄を設けて意見があればそこで補完をするということによろしいですかね。
委員長	分野の項目については、先程ありましたように今日は難しいと思いますので、先に責任ある声を集めるということで、どこまで属性を記載してもらおうのかということを決めたいと思います。 個人的には、氏名、性別、年齢までは必要かと思います。住所については、細かく書いてもらうのか行政区までとするのか、いかがでしょうか。
委員	地域自治区ではどうでしょうか。それなら抵抗なく書いてもらえらると思います。行政区までとすると躊躇することがあるのではないかと思いますので。集計もしやすいでしょうし。
委員	私も自治区が良いと思います。地区ごとの違いも分かりやすいですし、細かい住所は必要なくて、それは氏名だけ書いてもらえれば十分だと思いますので、自治区での情報があればと思います。
委員	集まった情報の氏名、性別、年齢などは誰が見ることができるのでしょうか。実行委員会も見ることができるのでしょうか。
委員長	アンケートページの仕組みについて事務局から説明をお願いします。
事務局	県が運営しているシステムを利用するもので、アンケートで記載した内容は、そのシステムで集計されて市に届くというものです。ですので、まずは、事務局だけが集まった情報を見ることができる状態になります。それを編集して実行委員会の皆さんに提示することになります。
委員	氏名、性別、年齢の項目に賛成します。住所も地域自治区単位が良いですが、提案として、そこに市外という項目も入れていただき

	たいと思います。
委員長	では、氏名、性別、年齢、地域自治区で、市外も項目に入れるということで進めたいと思います。
委員長	前回、オンライン上の常設の市民の声募集サイトを設けるという案がありましたが、事務局と相談しましたが、開設はできると思いますが、管理・運営をどのようにしていくのかが悩みどころで。どうでしょうか。面白い提案でしたが、運営の仕方に課題があります。
委員	管理はできないでしょうね。フルタイムでそこにいなければいけないので、やめましょう。
委員	私はツイッターみたいな書き込みをしてもらう場を想定していましたが。
委員長	前回の話から、Z o o mへの自由参加を想定していました。文章ではなくて、自由に話せる場が良いよねというふうに認識していました。
委員	そうですね。やるのであれば時間を区切って日時を指定してということになるのですが、周知が難しいですしね。
委員長	では、今回は開設しないということでよろしいですかね。
委員長	新城市の公式ラインができましたけど、それは活用できますか。
事務局	コロナワクチンの情報を発信するために急ぎで公式のアカウントを作ったということです。市からの一方的な情報発信のためのものです。今はコロナの話がメインとなっていますので、少し使いにくいですが、意見募集の情報発信に使うことができます。
委員長	では、整理しますと、氏名、性別、年齢、地域自治区の属性を求めながら、意識のある市政分野について選択をしてもらうこと。市のホームページにアンケートページへのリンクを作成するということ。SNSでの発信は、ホームページへのリンクの拡散とすること。アナログの媒体としては、8月16日発行のほのかに掲載をするということと、無作為抽出での郵送のアンケートを行うこと。あとは、目安箱の設置ですが、いかがでしょうか。前は、ワクチン

	接種会場に置いたらどうかという話もありましたが。
委員	私はワクチン接種に行きましたが、皆さんワクチンのために行きますので、目安箱を置いても見ないと思います。置くなら、市役所と支所が良いです。そういう所なら管理してもらえますし、ワクチン接種会場では、迷惑になってしまいます。職員の目が届くけれど、届きすぎると入れにくいので、さりげなく入れられるところが良いかと思います。
委員長	ワクチン会場は難しそうですね。市役所に置くか、いっそ置かないかですね。
委員	デジタルでの手段が難しい人への対応として、需要はあまりないかもしれませんが、ないよりは良いかと思います。
委員	ほのかからの回答は、郵送などもありますか。
委員長	アンケートフォームのQRコードの掲載、FAX、メール、郵送の認識です。
委員	郵送があれば目安箱は不要でしょうし、郵送がなければ、FAXがなくQRコードが難しい方は一定程度いると思いますので、そこ次第かと思います。
委員	FAXは、家庭で使っていないような気がします。であれば、市役所に来られる方も意外と多いですので、1つの方法としてありだと思います。入らないかもしれないですが、それはどの媒体でも変わらないですけど。SNSもあれば目安箱もあるというのが平等かと思います。
委員長	置けますか。事務局としてはどうですか。
事務局	可能です。先程郵送がありましたが、切手を自分で貼って送ってもらうので、郵送代のかからない目安箱の方が良いのかなという気はします。
委員長	事務局の方で、箱の準備をお願いします。
事務局	わかりました。
委員長	次に、ワークショップですが、期間的に難しいですので、特にと

	<p>いう御意見がなければ今回は実施しない方向にしようと思いましたが、いかがでしょうか。本当にやろうと思えば、もう2月位ないと難しいと思うので。コロナもありますし。</p>
委員長	<p>あとは、分野の項目ですが、時間的に難しいですので次回にしたいと思います。</p>
事務局	<p>ほのかの掲載内容ですが、アンケートフォームのQRコード、FAX、メール、郵送、目安箱の設置と、氏名、性別、年齢、地域自治区を記入してもらって、という内容でよろしいですか。</p>
委員	<p>自分の地域自治区が分からない方もいると思いますので、分かるように例示などをしてもらいたいと思います。自治区と自治会の違いがよく分からない方もいますので。</p>
事務局	<p>広報のページの関係次第ですが、調整はしてみます。</p>

(2) 感染状況の悪化、台風等の場合の対応

委員長	<p>では次に、感染状況の悪化、台風等の場合の対応について、話をしたいと思います。感染状況が悪化した場合や台風の場合の中止等の判断をどうするかということです。事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>感染状況の悪化の場合には、無観客として、ティーズやYouTubeのみでの対応になるかと思えます。そちらの媒体を積極的に宣伝する1つのきっかけにもなりますし、特にYouTubeは何回でも見ることができます。ティーズも加入していればですが、テレビで気軽に見られます。</p> <p>台風の場合の行事開催の判断基準は、市にはありませんので、台風の規模やルート、イベントの必要性等を考えて開催の是非を決定することになります。無観客で実施したとしても、立候補予定者は台風の中来ざるを得ないこととなりますので、市のイベントとしてそれが良いのかというのは悩ましいところです。</p>
委員長	<p>コロナの関係で、緊急事態宣言が出ていたら、無観客という事になるかと思えます。一番困るのは台風なのですが、市に具体的なルールがない中で、御意見ありますか。</p>

委員	暴風警報がでなくても、特に鳳来地区・作手地区は雨量によって通行規制が掛かります。そこも参考にしないといけないと思います。
事務局	台風接近となると、災害対策本部が立ち上がって避難所も開設していくことになり、職員はそちらの対応に向かうこととなります。市の対応としては難しいかと思います。
委員長	第何次非常配備になりますか。
事務局	第2次です。
委員長	警報か、雨量規制か、第2次非常配備か色々な基準が考えられますが、当日の9時までとかの決定ですかね。広報の必要もありますので。
事務局	当日ですので、防災行政無線で中止の広報をすることになるかと思います。時間は、いつでも広報できますが。ほかの広報の方法としては、ホームページの更新くらいです。
委員長	午前6時の決定で、その後すぐに流すことはできますか。たまに朝早くに流れていますが。
事務局	朝早くに行うものは、早い時間に放送をしますが、今回の討論会は、夜7時ですので、その時間が適切かどうかです。
委員長	朝仕事に出てしまう人がいますので、その前に広報する必要があると思います。
事務局	どこかのタイミングで2・3回放送することになると思います。
委員	例えば、夜には通過していた場合はどうなりますか。
委員長	それは個々の判断でしょうね。天気予報を見て判断としか。
委員	色々なパターンがありますので、判断がどうなるのか分かりません。
事務局	気象情報を見て判断するしかないですね。
委員	今ここで色々なパターンを考えても決められませんので、市の方で判断してもらおうというのでいかがでしょうか。災害は毎回違って、決められませんので。

委員長	当日の判断は、事務局と相談して決定をしますが、その指針だけとりまとめて話をしたいと思います。
事務局	中止の場合の代替日をどうしましょうか。
委員長	中止となった場合に、別日に実施するとして、観客を入れるのかどうかということで良いですか。
事務局	そのような趣旨です。
委員	少なくとも撮影・配信はするんですよね。そうすると、コロナの対応と同じようにそれだけ実施はダメですか。
事務局	立候補予定者は台風の中移動しなければならないので、中止の場合は、撮影・配信も中止になります。別日での撮影・配信についてはどうでしょうか。
委員長	その回は、別日の設定等もなく完全に中止ということはずに、別日に観客なしで撮影・配信のみ行うということでどうでしょうか。
委員	その意見に賛成です。
委員	3会場とも中止になるということは考えにくいので、1回でもできたらそれを配信するというだけでも良いのではないのでしょうか。
委員	3会場のテーマは、同じでしたか。
委員長	まだ、テーマについては決まっていません。
委員	でしたら、各会場で異なるテーマの可能性がありますので、現状では全ての議論を提供できる準備をしておく必要があるかと思えます。
委員長	では、台風などの場合には、別日に観客を入れての対応はせずに、別日に撮影・配信ということによろしいですか。
委員長	本日の検討が終わりました。

3 その他

(1) ティーズでの宣伝の内容の報告等

セリフを検討中であること等を事務局から報告がされた。

(2) 愛知大学学生（START UP）の協力について

SNSでの発信（意見募集と開催の周知）をJCのアカウントと連携して行うこと、当日の会場準備等について協力を得られることについて報告がなされた。

(3) 次回の日程

7月21日（水）午後6時30分から（オンライン会議）

閉会